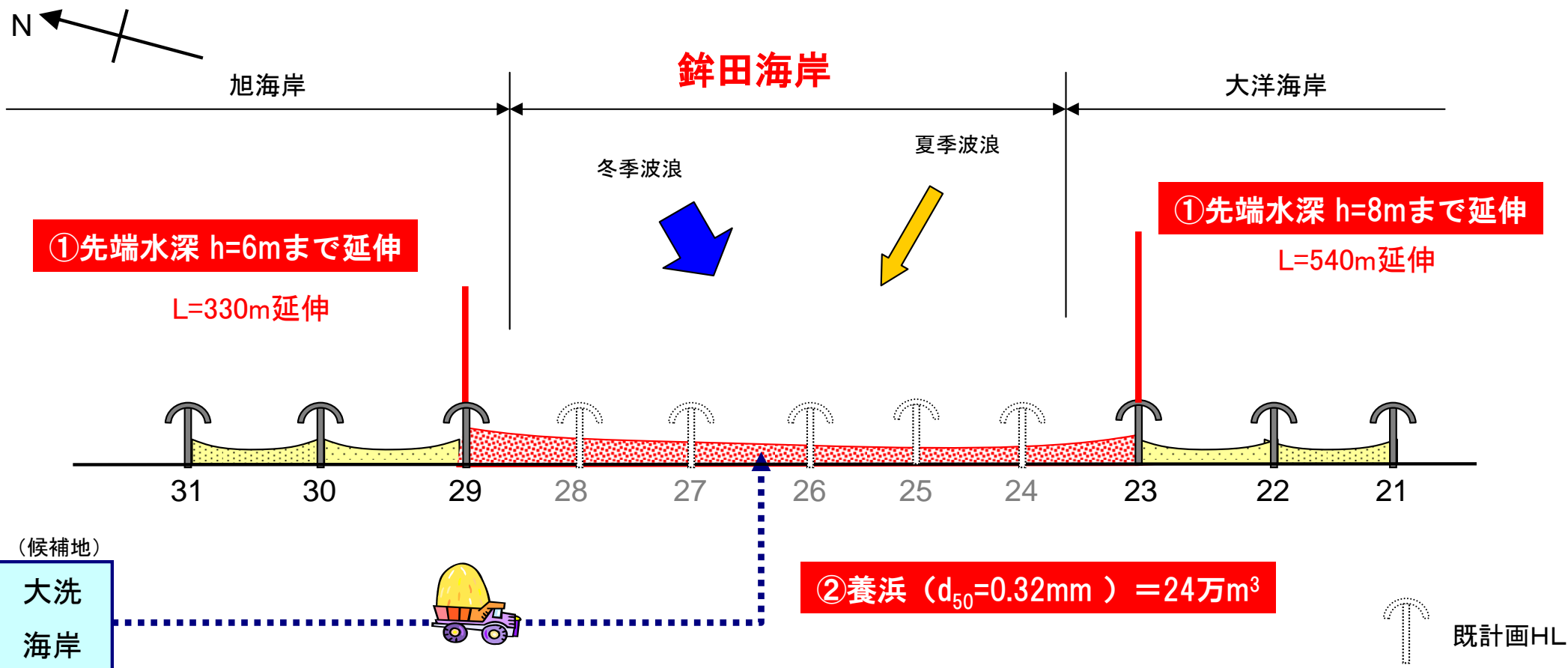


# 鉾田海岸保全対策の最適案

① 既存ヘッドランドを先端水深6m(29HL),8m(23HL)まで延伸

② 養浜24万 $m^3$  ※養浜材採取地が大洗海岸(大貫地区)の場合



# ポイントの整理

## 【地形的条件】

- 銚田海岸への土砂供給は無い
- 今後も銚田海岸から7万m<sup>3</sup>/yrの土砂が流出する(最悪のシナリオ)

## 【最適工法】

- 土砂流出防止・人工化回避の観点から、「突堤延伸」が最も有効

## 【対策の内容・規模】

- 季節によって異なる波浪条件から、左右非対称の突堤延長が有効
- 養浜砂の流出防止には、現地(0.15mm, 1/65)より少し粗目の砂(0.3mm程度, 1/20)が有効
- 養浜量は、左右の突堤延伸によって形成される砂浜地形を考慮し、“防護上必要な砂浜幅(20m)”を確実に確保する適切な量を算出